

# 廃プラ輸出からの脱却

## 第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会

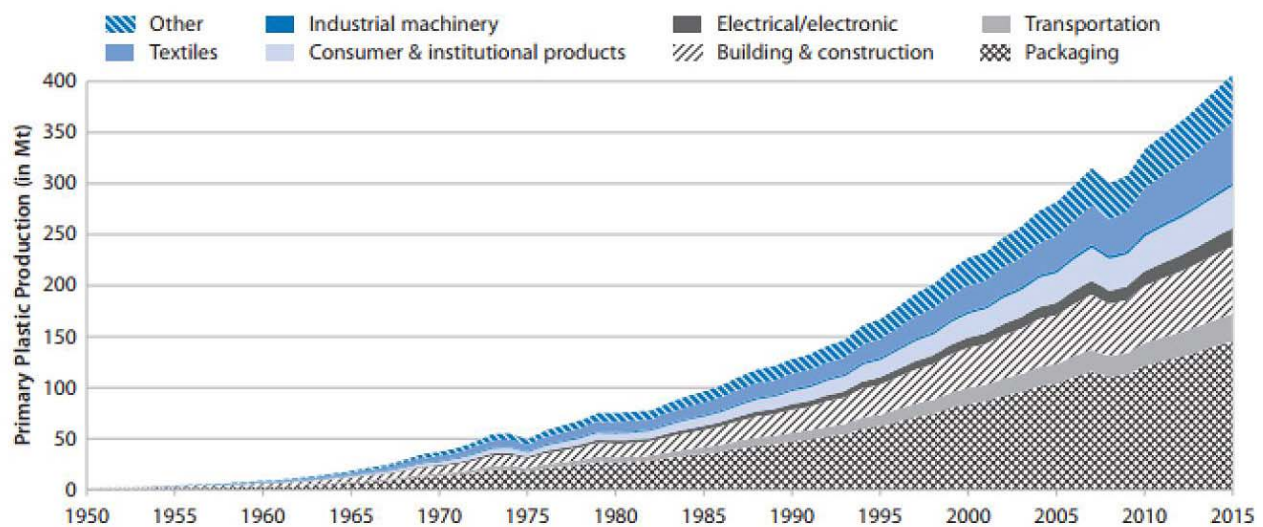
パネル討論会 令和元年11月15日

一般社団法人兵庫県産業資源循環協会

会長 東浦 知哉

## 世界のプラスチック製品の生産量の推移

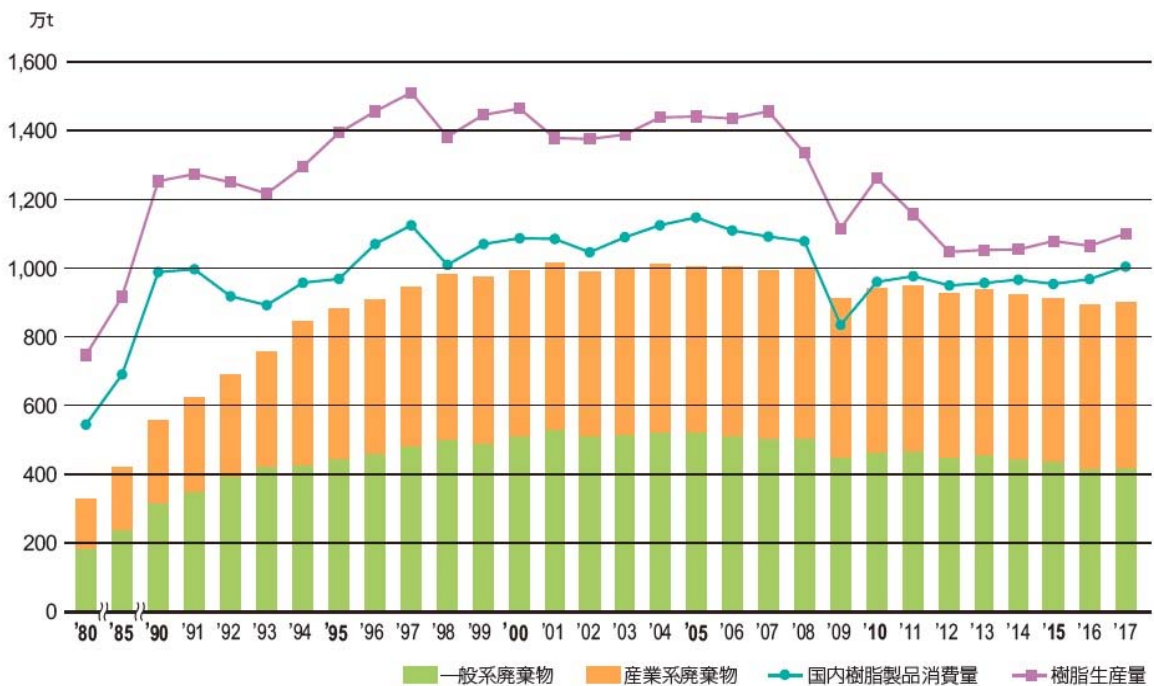
Figure 1. Global primary plastics production has grown rapidly, and is projected to continue increasing to 1 600 million tonnes in 2050



Source: Geyer et al. (2017).

出典: OECD POLICY HIGHLIGHTS Improving Markets for Recycled Plastics

## プラスチックの生産量・消費量・排出量の推移



(一社)プラスチック循環利用協会

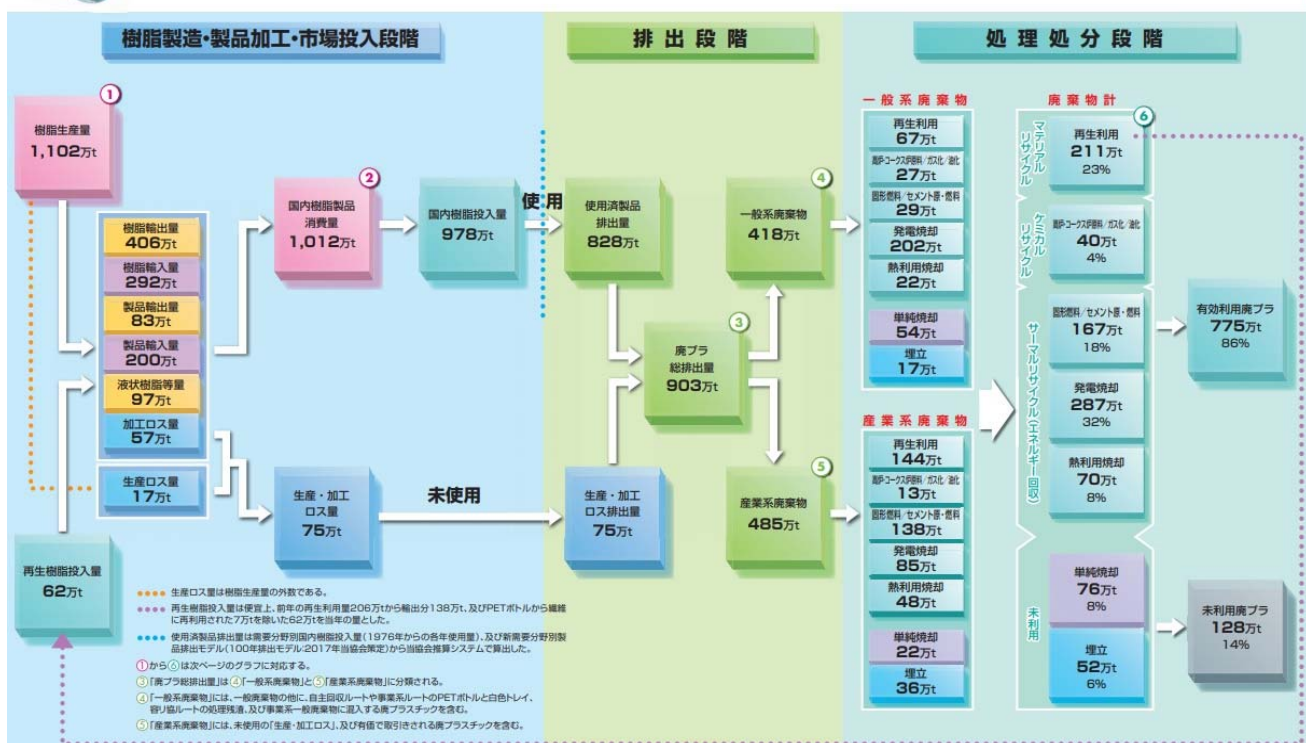


2017年

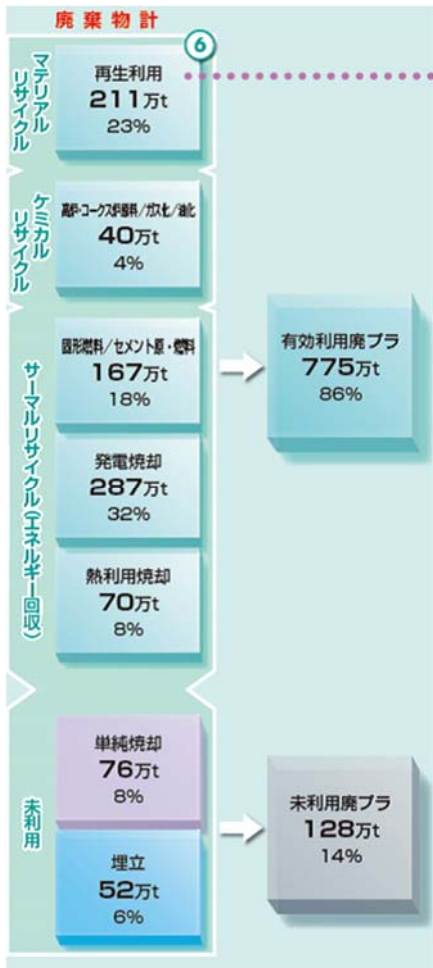
## プラスチックのマテリアルフロー図 (プラスチック製品・廃棄物・再資源化フロー図)



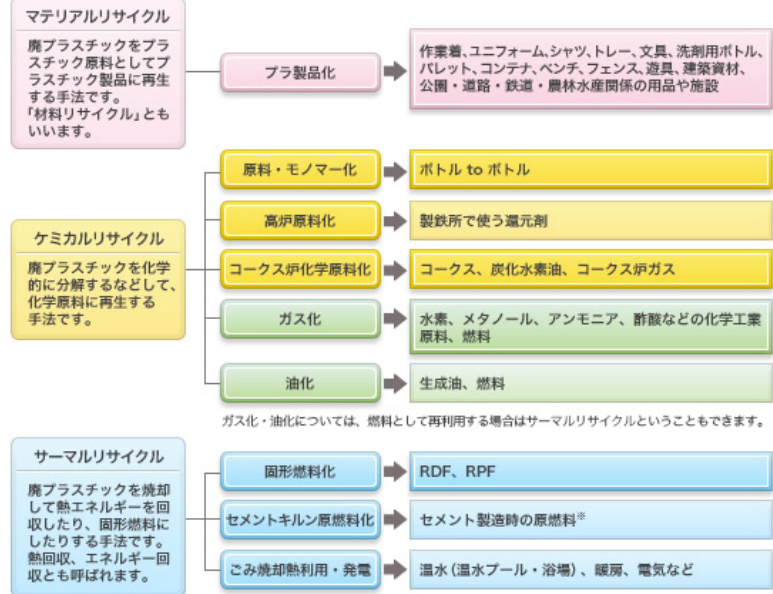
一般社団法人 プラスチック循環利用協会



(一社)プラスチック循環利用協会



### プラスチック・リサイクルの手法



\*原燃料：セメントキルン（セメント製造用の回転式窯）で焼却補助剤として使われ、燃えたあとの灰はセメント原料の一部としてリサイクルされるもの。

テムズ中日(株) Kids環境ECOワード



## 1.2 海外におけるプラスチック資源循環関連施策：アジア諸国による輸入規制

### <中国政府の動き>

- 2017年7月：「固体廃棄物輸入管理制度改革実施案」を公表
  - 一部の地域で環境保護を軽視し、人の身体健康と生活環境に対して重大な危害をもたらしている実態を踏まえ、固体廃棄物の輸入管理制度を十全なものとする、固体廃棄物の回収、利用、管理を強めることなどを基本的な思想とし、以下の点を盛り込む
    - ・ 2017年末までに環境への危害が大きい固体廃棄物の輸入を禁止する
    - ・ 2019年末までに国内資源で代替可能な固体廃棄物の輸入を段階的に停止する
    - ・ 国内の固体廃棄物の回収利用体制を早急に整備し、健全な拡大生産者責任を構築し、生活ゴミの分別を推進し、国内の固体廃棄物の回収利用率を高める
- 2017年8月：「輸入廃棄物管理目録」の公表（施行日：2017年12月31日）
  - 非工業由来の廃プラスチック（8品目）、廃金属（バナジウム）くず（4品目）などの4類24種の固体廃棄物を「固体廃棄物輸入禁止目録」に追加
- 2018年4月：固体廃棄物の段階的な輸入停止方針を公表
  - 2018年12月末に、工業由来の廃プラスチック、廃電子機器、廃電線・ケーブル等の輸入を停止する

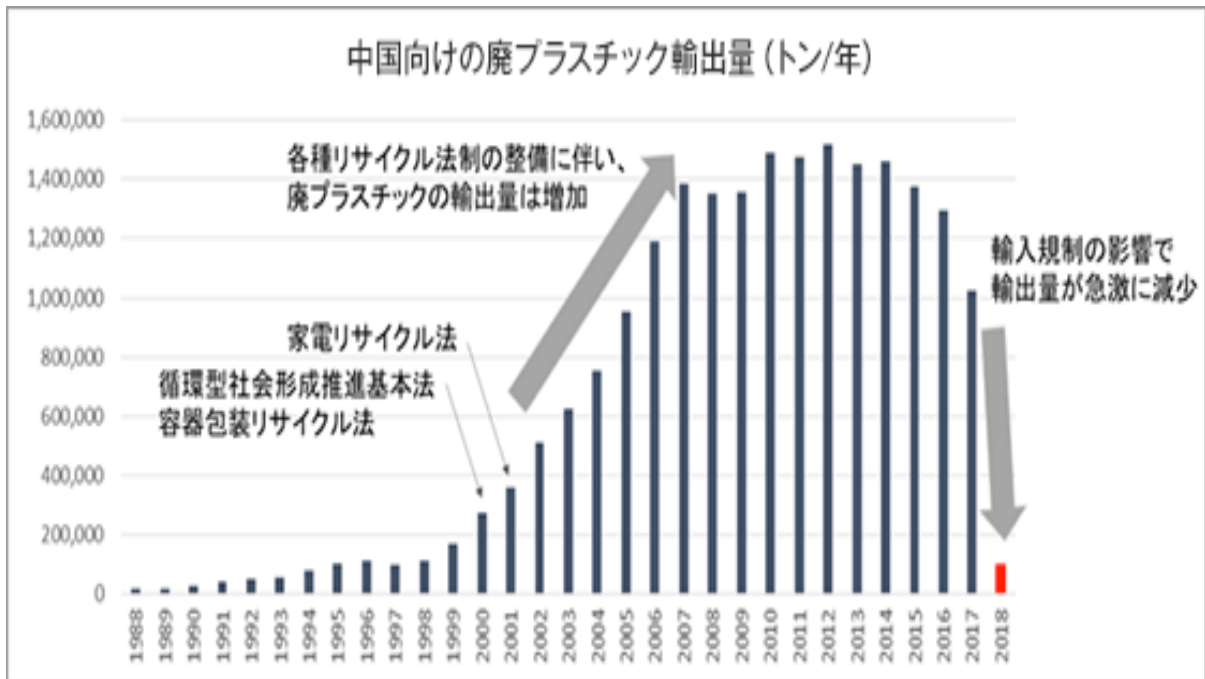
### <タイ政府の動き>

- 2018年6月：電子廃棄物や廃プラスチックの輸入制限を強化
  - 廃プラスチックの違法輸入業者に対して、取締り強化するとともに、新規輸入許可手続の停止を実施。併せて、廃プラスチックの輸入を一律禁止にする検討の方針

### <マレーシア政府の動き>

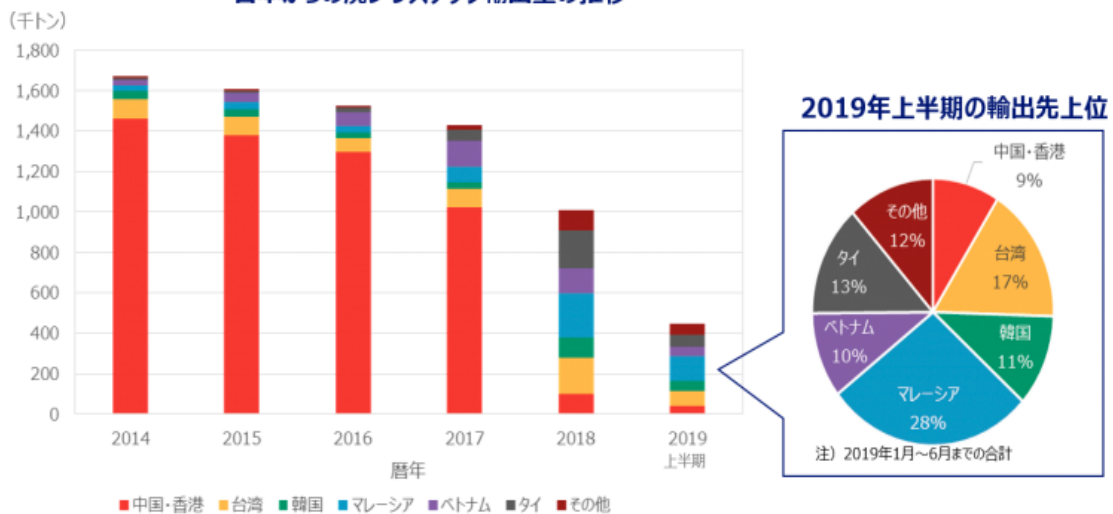
- 2018年9月：10月23日以降、廃プラスチック1トンにつき15リンギットを課税すると発表
  - 輸入許可基準が追加され、より厳格化。MIDA（マレーシア投資開発局）の承認も必要

## 日本から中国向けの廃プラ輸出の推移

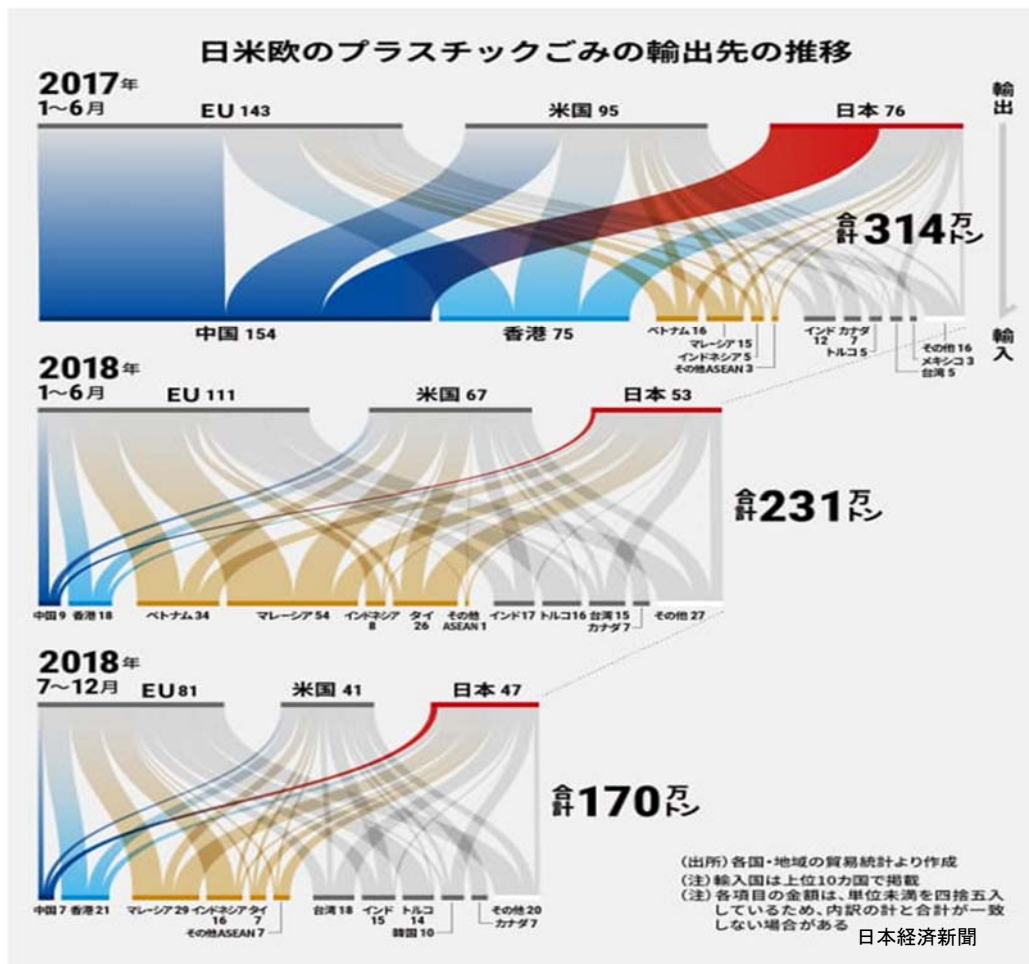


DOWAエコジャーナル  
国連商品貿易統計データベースより作成

## 日本からの廃プラスチック輸出量の推移



注) 2019年は1月～6月までの合計  
(出典) 財務省貿易統計 (HSコード 3915)



9

## 今後の廃プラスチックの材料リサイクルルートへの示唆

	発生源 分別・選別	再生処理	再生プラスチック 製品の製造	課題	対策案
ルート①	日本	東南アジア 東アジア	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国で輸入規制の動きがあり、ルートの長期的な安定性が不明確</li> <li>不適切なリサイクル・処理による再生処理施設の周辺環境への悪影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国での廃プラスチックの受け入れ基準の統一化・透明化</li> <li>適正リサイクルを担保する国際的なルール作り</li> </ul>
ルート②	日本	日本	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジア諸国等、再生処理コストが安い国とのコスト競争</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な回収スキームの確立</li> <li>再生処理施設の高度化・大型化等による日本国内での再生処理のコスト競争力の強化</li> </ul>
ルート③	日本	日本		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国内では再生プラスチック製品への需要が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生材の使用を義務付ける目標設定等、再生プラスチック製品の市場を拡大</li> </ul>

廃プラスチックの材料リサイクルルート

IGES(地球環境戦略研究機関)プラスチックごみ問題の行方